

しもうち

題字:早梅書

山王山(さんのうやま)153m

しもうちふれあいまちづくり協議会

令和7年2月3日発行



向山神社



富士神社



稲荷神社



八幡神社



唐栗神社



秋葉神社



井神社



白山神社



南宮神社

P2 協議会長年頭のあいさつ

P3 ふれあい文化祭 敬老会

P4 クリーンアップ 協賛事業所紹介

P5 山王山登山 玉入れ大会

P6 ゴルフ大会 下有知地区・各区

P7 下有知小学校 銀ちゃん広場

P8 関有知高校との交流 ふれあいクラブ

特集 下有知には3つのため池があった

初詣に有名な神社に行かれた方もおいででしょう。
下有知の主な神社を山王山から巡って紹介します。
向山神社、富士神社、稲荷神社、八幡神社、唐栗
神社、秋葉神社、井神社、白山神社、南宮神社の9
つが主だった神社です。ただし、写真は神社の全容
を収められなくて、部分的にしか撮影できていません。

詳細は下有知ホームページの「しもうちふれあい
まちづくり協議会」で閲覧できます。スマートフ
ォンは右のQRコードでご覧いただけます。



まちづくり協議会会長 年頭あいさつ

— 支 え 合 い と 感 謝 —

新しい年を迎えたこの時期、その年の抱負や目標をたてる方も多いと思います。そんな大げさなことでもなく「今年はこんな年になるといいな、こんなふうに過ごしたいな」くらいのことは誰もが考えることではないでしょうか。私の場合は毎年この時期、山頭火の一句を思い返します。「やまあれば山を見る 雨の日は雨を聴く 春夏秋冬 あしたもよろし ゆうべもよろし すなほに咲いて 白い花なり」



この句には次のような解釈があります。「目の前に広がる自然は四季折々美しい景色を作り出してくれる。人の一生も同じもの。人生にはいろいろな出来事があって、喜怒哀楽、様々な心模様が生まれてくる。その全てをあるがまま受け入れてみよう。例えば雨が降っても一喜一憂しないで、雨の音を楽しむくらいの余裕を持とう。晴れの日ばかりにこだわってはいけない。どんな時も自分らしく生きることが大切なのだ」と。人生には色んなことがあるけれど、それを受け入れたうえで季節を楽しみ自然を愛でながら生きていく。そんな簡単なことではないけれど、そんな生き方をしてみたい。年頭にいつも思うことです。

ところで、昨年大河ドラマは「光る君へ」でした。このドラマの中の藤原道長は、かつて日本史で習った道長のイメージとは違ったものでした。道長といえば3人の娘を天皇の后にして、権力を独占し権勢をふるった独裁者として語られてきましたが、それは彼の代名詞となった「望月の歌」の解釈によるものでした。

“ この世をば 我が世とぞ思ふ 望月の 欠けたることも なしと思へば ”

従来の解釈では「満月のように自分には何も欠けるものもなく全てが揃っていて、この世は自分のものだ」でしたが、このドラマではそれとは少し違った新しい解釈で描かれていました。「今夜は心ゆくまで楽しいと思う。目の前は欠けているが、私の月――后となった娘たちと宴席の皆と交わした盃――は欠けていないのだから」というものです。わが世は自分一人の幸せではなく、その場にいる皆の幸せを喜び詠んだ歌として解釈され、道長は家族や部下、まわりの人みんなに支えられてきたことに感謝の気持ちを持っている人物として描かれていました。

個人的にはこのドラマの道長の方が好きです。今の社会でも物事を進めるうえでは、それぞれの協力と支え合いが不可欠で、それは地域づくりにも通じます。本年も皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い致します。

令和7年正月

しもうちふれあいまちづくり協議会 会長 横山伸治

ふれあい文化祭

(10/12・13文化・交流部会)

10月12日(土)・13日(日)の両日、下有知ふれあい文化祭を下有知ふれあいセンターにおいて開催しました。今年も作品の展示のみとなりました。地域の皆さんをはじめ、保育園・幼稚園・小学校・中学校・ふれあいクラブの皆さん、下有知区内の老人福祉施設の皆さんによる絵画や書、写真、手工芸などの作品362点以上が展示されました。下有知地区内外の約384人の皆さんが来館され、一つ一つの作品をじっくり鑑賞し、どの作品にも感心して行かれました。

12日の午前中にふれあいクラブの子どもたちが、和室でハンドベルの演奏にチャレンジして澄んだ音色を響かせていました。



敬老会

～お祝い品の配布準備～

(10/19・20 福祉・子育て部会)

10月20日(日)に福祉委員の方を中心に敬老会のお祝いの品をお届けするために、前日の19日(土)に下有知ふれあいセンター内で、配付の準備が行われました。役員の方々が、区会ごとの人数分を手際よく仕分けされました。配付対象者は79歳以上の皆様です。お祝いの品の熨斗(のし)には、可愛らしい子どもの絵が描かれています。関市のお店で使える「関暮らしにエール商品券(せきチケ)」(千円分)と記念品が配られました。

お祝いの品の経費については、関市からの敬老会に対する助成金を主にして、各自治会の会費から納められた下有知まちづくり推進費から一部補填して賄われています。



下有知地区全域でクリーンアップ

(11/10 生活・環境部会)



クリーンアップ活動が5月26日と11月10日の日曜日に行われました。下有知地区全域で一斉に道路・空地等で拾われたたくさんのゴミが、下有知ふれあいセンターに持ち込まれました。

今回も青少年育成協議会の親子クリーンアップの参加と、地域の皆さんに多数参加していただき、ありがとうございました。今後もゴミのポイ捨て防止・ゴミの適正処理などきれいな地域づくりにご協力をお願いいたします。朝早くからの参加、お疲れさまでした。

しもうちふれあいまちづくり協議会事業に協賛いただいている 企業・事業所紹介

(株)エドランド工業 田中電気工事(株) (株)保険ショップ岐阜 しもうち整体院 きくいけ整形外科
(有)森永オート商会 (資)石川刃物製作所 (株)フジヨシ フルタテストカービング アテナ工業(株)
(株)沼田熱処理工業所 (株)岩見鉄工 長野運輸(有) (株)みどり塗装工業所 ミソノ刃物(株) SF オート
エスコート(株) (株)島内製作所関工場 山田接骨院 にしぶ接骨院 三星刃物(株) (株)東洋化学
あずき畑デンタルクリニック 中部電力(株)加茂営業所 美濃関カントリークラブ (株)トヨタモ
ゲンキー(株)美濃インター南店 (株)クスリのアオキ下有知店 セブンイレブン関市下有知北店
(有)三万 松田産業(株)関工場 (株)三晃関事業所 佐藤精密(株) 丸章工業(株) 美義工業(株) ニシブオート
ファミリーマート関しもうち店 おつじ内科クリニック (株)橋本関 eco フィードセンター
喜楽鋳業(株)美濃エネルギー工房 日比野プレス工業所 (株)トーヨーキッチンスタイル関本社
(有)コンドウ板金加工 (有)中濃オート (株)アシスト関営業所 (株)美濃重機 BARBERCLUB STYLE
キッチン杉 (有)佐藤建築 (有)島史子寝具店 (有)下條組 AND(株)岐阜支店 (敬称略・順不同)

住みやすいまちづくりのために

地域振興計画アンケート協力ありがとうございました！

自治会は、同じ地域に住む人どうしが協力し合って、自分たちの住むまちをより良くするため、生活に密着した様々な活動を行う組織です。そして、こうした活動を通じて、隣近所の方々がコミュニケーションを図る大切な役割を果たしています。

そうした活動を下有知地域全体に展開している組織が「しもうちふれあいまちづくり協議会」で、「下有知地域振興計画」に則って事業を行っています。その「下有知地域振興計画」の新たな策定のため、「下有知まちづくりアンケート」を下有知在住の16歳以上の住民から無作為抽出した1,200人を対象に、アンケートの送付・回収を12月から1月にかけて実施しました。

さまざまな立場で、アンケートの実施・回収にご協力いただき、ありがとうございました。

今後、お寄せいただいた協議会活動に対する評価や意見などをまとめ、協議会や各事業の改善に資するとともに、次期「下有知地域振興計画」策定に活用させていただきます。

下有知地区の自治会加入率は令和4年5月1日現在のデータで、56.7%（2,753世帯中、1,562世帯が加入）です。今回のアンケート実施、地域振興計画の策定といった一連の動きに付随して、自治会活動の認識が一層深められたり活動の質が高められたりして、自治会への参加加入が促進されることも期待されています。

ふれあい山王山登山

(11/17 文化・交流部会)



昨年度に続き、山王山登山を11月17日（日）に実施することができました。親子連れの参加もあり、約2.5kmのコースを1時間半の予定で出発しました。登り口から八十八箇所霊場の石仏を巡る道から中腹の広場を過ぎると、ところどころで陰しい所もあり、スタッフのアドバイスで気をつけたり休憩をはさんだりして景観を楽しみながら山頂まで登り、下山は登りと違うコースで下山しました。また、山王山登山道整備会の方々が、子どもや年配の方でも楽に歩けるように、きれいに整備していただけていることを実感していただけたと思います。天気の良い日に登って、山頂から見る下有知一円の様子や遠くに白く輝く御嶽山を見ていただきたいです。

玉入れ大会

(11/24健康・スポーツ部会)

11月24日（日）にしもうち玉入れ大会を下有知中学校体育館で開催しました。チーム5人が、制限時間3分の間に、101個の持ち玉を所定の籠に正確に投げ入れる数を競うゲームです。今回は高さの違う籠に入れていく個人戦もありました。老若男女楽しめる玉入れですが、高いところを見上げての作業となり、翌日から首や二の腕の痛みが出たと言われる参加者の方が多く？みえたとのことでした。



下有知ゴルフ大会

(11/19健康・スポーツ部会)



11月19日(火)に美濃・関カントリーで第10回しもうちふれまちゴルフ大会が好天の中開催されました。

32名の方が参加され、上位入賞を目指して、和気あいあいとプレーされました。

結果については、優勝は大鍬的治さん、準優勝は天野則夫さん、3位は松田教佑さんでした。おめでとうございます。

各区で行われた防災訓練などの活動の様子

【4区】10月20日(日)に、上井桁、竹林、新竹之内、竹野新田は下有知中央集会所で、重竹、下山、東重竹は重竹公民センターで、関市消防署、関市危機管理課の職員と下有知消防団員の協力を頂き、避難訓練、防災講話(中央集会所)、消化訓練、土のう作り訓練(重竹公民センター)などを行いました。参加者は、104人でした。



【5区】12月8日(日)午前7時20分より、時折氷雨の降る天候でしたが、地震を想定した避難誘導訓練を実施しました。第一次避難場所の三ヶ所から中組集会場に集合する人員確認・避難誘導を行うとともに、関市役所危機管理課の小澤宏之主任主査に地震に備える講話をしていただきました。更に、役員は中学校に隣接設置してある防災倉庫と内部の備蓄品を見学しました。(参加69名)



【6区】12月1日(日)午前9時30分より、昨年度より夏祭りに替えた「上切スポーツフェスティバル」を下有知中学校体育館で実施しました。玉入れ、輪投げ、ラダーゲッター、カローリング、シャフルボード、ペタンクの誰でもできる6種目を4つの自治会の45人が参加して、各種目にチャレンジしました。子どもから年配の方まで幅広く参加があり、親子・家族の交流の場ともなりました。





下有知小学校にて11月16日(土)、『銀ちゃん広場』が開催され、さまざまな職業について学ぶ「お仕事探検隊」なるものが行われました。PTAが主催し、市内に拠点がある企業や施設など16団体から講師を迎えました。同校の卒業生で映画監督の八木順一郎さんによる講話があり、映画や芸能界に関する知識や、夢を持つことの大切さを話されました。その後、全校生徒が18グループに分かれ、消防士や自衛隊員、和菓子店主、新聞記者、銀行員などの講師から話を聞き、それぞれの仕事を体験しました。

自衛隊体験では、岐阜地方協力本部美濃加茂地域事務所の皆様が、救助現場で使うロープの結び方や、布と棒2本で担架を作る方法を指導されました。児童たちは保護者の手をかりながら担架を作り、運ばれる体験もしました。児童からは、「こうやって人を運ぶ方法があるんだと初めて知りました。学んだことを将来の役に立てたい。」との感想がありました。

銀行体験では、関信用金庫経営企画部の皆様による、伝票と模擬紙幣を使った窓口受付体験やお札を数える札勘体験の講義がありました。又、今年に入り新紙幣が発行されたことから、行員の方から新紙幣の偽造防止の説明があり、保護者も児童も興味津々で話を聞いてみえました。

屋外では、消防署の皆様による、消防自動車の展示、消防服の着脱、消防自動車への乗車等の体験が実施されておりました。

全部は紹介できませんが、将来、「お仕事探検隊」を体験した児童が、それらの職業に就業するようなことになれば、懐かしい思い出となるかもしれない貴重な経験の場であったと感じました。

ご協力いただきました16の団体の方々に感謝するとともに、企画をしていただいたPTAの皆さん、来年もまたその翌年もこのような行事が行われることを期待します。



関有知高校との交流 団体活動の紹介 (8/24下有知ふれあいクラブ)

高校生みなさんに出迎えられ、食物アレルギーと小学生の実態に配慮した調理実習・新聞紙を利用したゲームとその新聞紙とビニル袋を用いたヨーヨー作り・色画用紙、花紙を用いた明かりアート制作など、用意周到な準備と個別指導のお陰で旺盛な小学生の創作意欲が引き出されました。

まず、卵や小麦粉等なじみある食品によってアレルギーを発症することがあることをクイズにより理解してから、調理室へ移動、エプロン等を着用して、予め準備していただいた豆腐・米粉・ニンジンパウダーなどをビニル袋で練り込み、その生地を搾り出し、形を整えてフライパンで焼きました。手順通りにできるようなアシストや「うまくできたね。」などの励ましや認め言葉かけが常にありました。

教室移動し、ずらりと並んだメンバーが分散し、新聞紙1枚を折って切り取りポンチョにできるようにリードし、できあがったら各々がそれを頭から被り、じゃんけんで勝ったり負けたりしたら紙のポンチョを切り取るゲームをしました。

次に、その新聞紙を捨てるのではなく、まるめて花紙で覆い、更にビニル袋に入れて輪ゴムでつないできれいな色のヨーヨーにして試しました。

調理室でパンケーキを試食し「おいしい。」を連発してから戻ると、明かりアートの材料や用具などが用意されていて、早速、高校生みなさんに教えてもらいながら、四角錐になるように展開した色画用紙から明かり窓をいろいろな形に切り取り、薄い花紙を窓に貼る工作に取り組みました。星やハート型に切り抜くパンチも各種用意していただき、それらを使用するときには喜々とした表情が溢れていました。予定時刻を過ぎたため、完成品までには至らなかったは惜しかったですが、参加者は活動開始から一連の無駄のない充実した活動に大変満足した様子でした。



詳細は下有知ホームページの「しもうちふれあいまちづくり協議会」で閲覧できます。スマートフォンは右のQRコードでご覧いただけます。



しもうちふれあいまちづくり協議会

〒501-3217 関市下有知 3245 番地 32 (下有知ふれあいセンター内)

TEL 0575-25-2020 (FAX 共通)

Eメール: shimo-f@ccn3.aitai.ne.jp

ホームページ: <https://shimouchi.com/>